

全国団地景観サミット UR 賃貸住宅 フォト&スケッチコンテスト

「団地が育てた風景」 結果発表

団地への想いがこもった作品が結集。

最優秀賞は
団地をバックに躍動感、静と動の瞬間を捉えた
浦安マリナイーストの団地の風景
「サッカー少年」に決定。



お問い合わせは下記へお願いします。

本社 技術・コスト管理室 都市デザインチーム
(電話) 045-650-0815

本社 カスタマーコミュニケーション室 報道担当
(電話) 045-650-0887

——— 街に、ルネッサンス ———



UR都市機構

「全国団地景観サミット〈UR賃貸住宅 フォト&スケッチ コンテスト〉」
の開催結果について

■審査結果

団地景観サミットにつきましては、写真及びスケッチを合わせて513点の作品の応募がありました。審査につきましては、一次審査、二次審査、有識者審査員の三度に渡る厳選なる審査のうえ45点の入賞作品を選出いたしました。入賞作品の内訳としましては、最優秀賞1点、優秀賞4点、特別賞5点、入賞31点、佳作4点となりました。

本コンテストの審査評価につきましては、規程（一次）審査を通過した作品を対象に、作品のタイトル及びメッセージについても評価対象とし総合的に評価をさせていただきました。

入賞作品につきましては、以下に最優秀賞及び優秀賞並びに特別賞をご紹介します。それ以外の入賞作品につきましては、機構ホームページ (<http://www.ur-net.go.jp/urbandesign/>) で掲載させていただくことでご紹介にかえさせていただきます（7月10日に掲載予定）。

最優秀賞 「サッカー少年」 〈浦安マリナイースト21〉 千葉県 多和 裕二 様



応募者メッセージ

「浦安マリナイースト21」は、海風の街・望海の街・潮音の街・海園の街が一体となり、素晴らしい景観を形成しています。当団地のすぐ隣に、芝生が整備され暖かな起伏に富んだ、明海の丘公園があり、住民の憩いの場となっています。

URの住宅に住み、地元小学校に通う、福田京太郎君は、友達とよくこの公園で遊ぶそうです。

今日は大好きなサッカーを友達と楽しんでいます。小高い丘からナイスキック！

優秀賞 「今日は布団干し日和だよー」〈月島一丁目団地〉 東京都 高木 政史 様



応募者メッセージ

大都会では布団干しが出来る時間は少ない。大切な布団干しが出来る日は、どこの家でも貴重な光を求め布団を干します。そんな自然の恩恵を受けている大都会の一部の姿を絵にしてみました。

優秀賞 「一番星」 〈落合団地〉 千葉県 松尾 信哉 様



応募者メッセージ

一番星の出る時刻、各家からは、光と一緒に、夕飯の香りも漏れてきていました。この時間帯に、「どこかの家からカレーのにおいがする。」と言って、帰宅してみると、我が家がカレーだったときほど、嬉しいことはありません。

優秀賞

「入学式の日」

〈プロムナード矢部団地〉

神奈川県

田中 和夫 様



応募者メッセージ

団地のとなりの桜並木。入学式に出る前に記念撮影をしていた親子。満開の桜の下でのしあわせな風景。

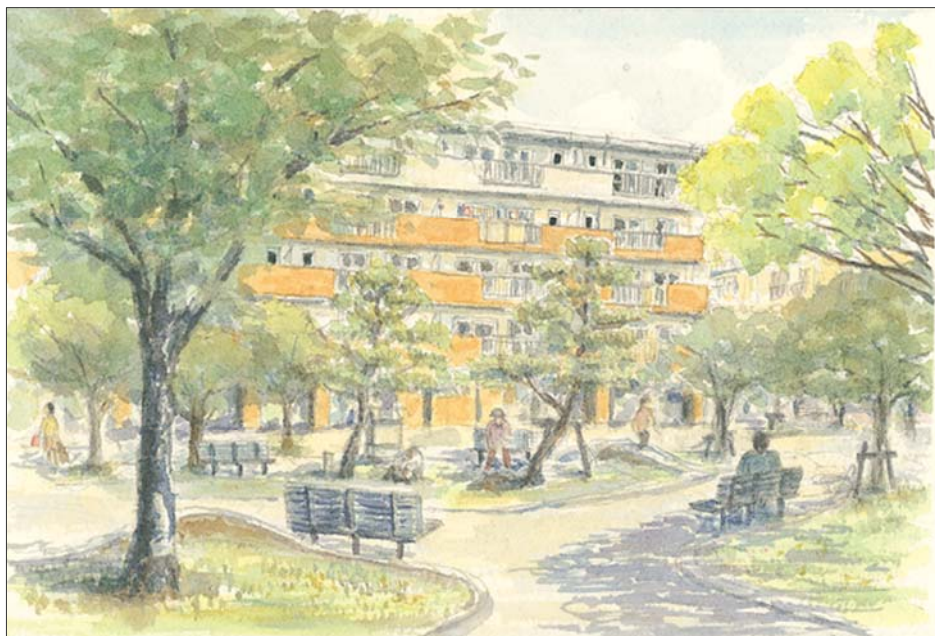
優秀賞

「団地のオアシス」

〈新金岡第一団地〉

大阪府

榎 知子 様



応募者メッセージ

団地の南側に中央環状線、東側にはときま線という交通量のはげしい道路が通っています。しかし団地内へ一歩入れば、大きな木々が木陰を作り、鳥たちのさえずりが聞こえ、時がゆっくり、静かに流れています。

特別賞 コミュニティ風景賞 「超世代の群像」〈アルビス緑丘団地〉

大阪府 小倉 一平 様



応募者メッセージ

団地は、人々の暮らしの場である。周囲の環境に対して主張しすぎない住棟と遊び場を中心とした世代を超えて交流できる豊かな屋外空間が団地の資産だと思う。今後も暮らしのある風景を育ててほしい。

特別賞 声が聞こえてくる風景賞 「雨にも負けず元気です」〈豊四季台団地〉

千葉県 森 皓平 様



応募者メッセージ

団地中央にある八百屋さんの写真です。昔は団地に沢山の人がいて、商店街は賑わっていたそうです。今はお年寄りが多くなり、団地に元気がなくなっています。そんな中でも雨の日に元気よく野菜を売っている八百屋さんは団地全体に勇気を与えているようです。

特別賞 夢みる団地賞 「私の一番好きな場所」

〈立花一丁目団地〉

東京都 藤井 栄奈 様



応募者メッセージ

物騒な世の中なので、今までは親同伴の行動が殆どでした。でも4月からは、時間を決め1人で公園に行き帰るようにしました。娘が毎日自分で友達と約束し、近いけれどたまに道に迷いながら行く、いつもの公園は、遊園地みたいな明るくキラキラした場所なんだと思います。

特別賞 やさしいみどり賞

「紅カナメの道」

〈多摩ニュータウン永山団地〉

東京都

山田 愛子 様



応募者メッセージ

背よりも高い紅カナメに囲まれた小道は、なんだか迷路のようでそこを通るだけでワクワクする。古い団地にはそんな住棟脇の小道や背の高い生垣、かくれんぼにぴったりの茂み、木登りしやすい灌木などがある。こうした場所こそ子供達にとっては格好の遊び場であり、秘密基地となる。実際にはどこからでも木々の間から建物が見えて、いつも誰かに見守られているような安心感に支えられている。

特別賞 風格を感じる風景賞「藤ノ木団地」

〈藤ノ木団地〉

福岡県

矢野 正徳 様



応募者メッセージ

昭和 30 年代に建てられた古い団地ですが、大きく育った樹木やきれいに手入れされた玄関先の空間等、とてもきれいな団地で住民の方の愛着をひしひしと感じます。水平連続窓の正統的なモダニズム建築の建物デザインは、かっこ良くもありかわいくもあります。紅葉の時期をスケッチしたのですが、紅く染まった大きな樹木のある玄関先の空間は、少し物寂しげではありますが、何とも言えず良い雰囲気です。

■「全国団地景観サミット〈UR賃貸住宅 フォト&スケッチ コンテスト〉」の経緯について

・目的

「全国団地景観サミット」は、身近なUR賃貸住宅の景観について、団地にお住まいの方々のみならず、その周辺地域にお住まいの方々にも関心を持っていただき、団地の景観や環境が地域に寄与していることなど、その価値を再発見していただくことを目的として実施しました。

・経過スケジュール

平成 20 年 3 月 3 日	記者発表と共に、ホームページの掲載等の PR の開始
平成 20 年 4 月 7 日～5 月 16 日	作品応募受付期間
平成 20 年 5 月 17 日～6 月 30 日	応募作品の入賞選定審査の実施（一次審査、二次審査、有識者審査）
平成 20 年 7 月 9 日	応募作品の審査結果（入賞作品選定）の記者発表の実施
平成 20 年 7 月 10 日	入賞作品の機構ホームページへの掲載（予定）

なお、入賞者への賞金については、7月中旬に、副賞の受賞作品と審査員のコメントを入れた冊子は9月上旬に送付させていただく予定です。

※有識者審査委員については以下の通りです。

進士 五十八	（東京農業大学教授・前学長・日本学術会議環境学委員長）
西村 幸夫	（東京大学大学院教授）
城戸 真亜子	（洋画家）
桐原 武志	（建築家、街並みウォッチャー）
池邊 このみ	（ニッセイ基礎研究所上席主任研究員・UR 都市機構都市デザインチームリーダー）

■主催者からのお礼

魅力的なまちや住まいづくりにおける様々な取組みの中で、安全・安心で快適な暮らしにもつながる「景観」というテーマについてクローズアップし、全国の美しい「団地景観」が一堂に会することを「サミット」になぞらえ、「全国団地景観サミット」として〈UR賃貸住宅 フォト&スケッチ コンテスト〉を開催させていただきました。

多くの方々からの作品応募による全国団地景観サミットへの参加をしていただいたことに心より御礼申し上げます。

応募いただいた作品はどれも力作ぞろいで、審査は大変難航いたしました。皆様からの応募作品については、機構職員にも掲示する機会を持たせていただき、メッセージを読み取りながら、UR 都市機構として、これまで育んできた団地景観や、団地の建替えにより再生された団地景観について、考えさせていただく機会となりました。

皆様方の団地への想いを通じて新たな観点で価値を認識するとともに、UR 都市機構の景観形成に関する取組みについて、知っていただくと共に、皆様からのご意見を今後の業務に活かしていきたいと考えています。